

sawai

沢井製薬株式会社

証券コード 4555

第68期 第2四半期株主通信

2015年4月1日 ~ 2015年9月30日

サワイ  
ジェネリック

Since 1965

なによりも患者さんのために



企業理念

なによりも患者さんのために

1

「真心をこめた医薬品を通じ、  
人々の健やかな暮らしを実現する」  
それがsawaiの使命です。

2

「創造性を追求し、革新と協調により  
社会と共に成長する」  
それがsawaiの挑戦です。

3

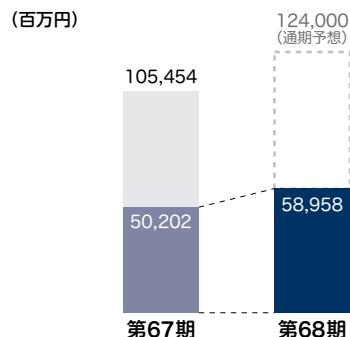
「お役に立ちたいという心を持ち、  
なくてはならない存在になる」  
それがsawaiの願いです。



# 第68期第2四半期のハイライト

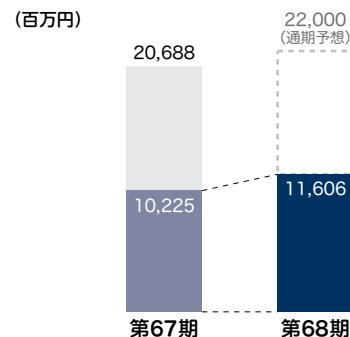
## 売上高

引き続きジェネリック医薬品の  
需要が拡大したことに加え、  
鹿島工場の受託売上も加わり、  
前年同期比17.4%増となりました。



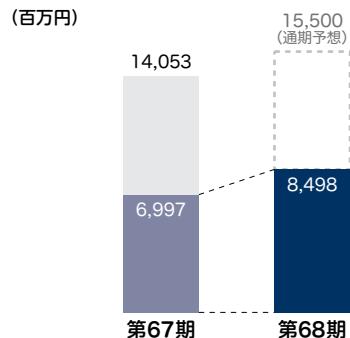
## 営業利益

売上増に加え、製品ミックスの改善、  
販売管理費の未消化などにより、  
前年同期比13.5%増となりました。



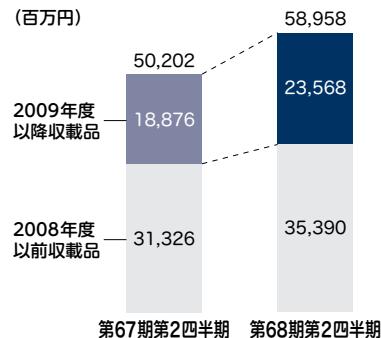
## 純利益

親会社株主に帰属する  
四半期純利益は  
前年同期比21.4%増となりました。



## 収載品年度別売上

2009年度以降収載品の売上が  
順調に推移し  
前年同期比24.9%増となりました。



### 新中期経営計画「M1 TRUST 2018」の 初年度として、さまざまな施策を進め、 着実な成果を上げました。

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当第2四半期は、2014年4月の調剤薬局およびDPC病院におけるジェネリック医薬品の使用促進策の効果が今期も持続し、ジェネリック医薬品の需要拡大が続きました。さらに、6月末に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2015(骨太の方針2015)」において、ジェネリック医薬品の数量シェア目標として、「2017年央に70%以上とするとともに2018年度から2020年度末までの間のなるべく早い時期に80%以上とする」ことが掲げられ、9月には厚生労働省が公表した「医薬品産業強化総合戦略」の中で、この目標の実現に向け、ジェネリック医薬品の使用加速のための諸施策を講じることが明記されました。その結果、ジェネリック医薬品業界としても、「後発医薬品80%時代」に向け、大幅な生産能力の増強に早急に取り組むことが求められました。

このような状況下、当社グループは、2018年3月期を最終年度とする3ヵ年の新たな中期経営計画「M1 TRUST 2018」を策定、5月に公表しました。この3年間を「2021年3月期に売上高2,000億円達成を目指す」という中長期ビジョンの達成に向け、「飛躍的成長を実現」するための基盤構築の期間として位置付けています。

生産・供給体制面では、4月に、田辺三菱製薬株式会社から子会社の鹿島工場を譲り受け、稼働を開始しました。今後、生産能力を年間30億錠にまで増強していく予

定です。また、包装能力増強のため新たに三田西工場の建設を決定し9月に着工するなど、拡大するジェネリック医薬品の需要に対して、着々と安定供給体制の強化に取り組んでいます。

製品開発・販売面においては、6月に5成分10品目の新製品を発売しました。また、8月には、大阪府吹田市に新たな研究開発拠点「開発センター」を竣工させ、開発力の強化を図りました。

この結果、当第2四半期の業績は、売上高は58,958百万円(前年同期比17.4%増)、営業利益が11,606百万円(同13.5%増)、経常利益が11,438百万円(同12.4%増)、親会社株式に帰属する四半期純利益が8,498百万円(同21.4%増)となりました。

今後も、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長

澤井 弘行

代表取締役社長

澤井 光郎

## 今後の日本の医療環境において、 大きな役割と責任を担っていきます。

“国民すべてが平等に医薬品を享受できる体制を維持させること”  
これこそがジェネリック医薬品のリーディングカンパニーである  
沢井製薬の使命であると考えています。

### 東堂なをみ プロフィール

1984年6月 医師免許取得  
1984年7月 大阪大学医学部附属病院勤務  
1987年7月 一般財団法人大阪府警察協会大阪警察病院勤務  
1990年7月 公益財団法人日本生命済生会付属日生病院勤務  
2002年1月 大阪鉄商健康保険組合健康管理室勤務(現任)  
2007年1月 日本医師会認定産業医資格取得(現任)  
2015年6月 当社取締役(現任)

社外取締役  
東堂なをみ

### 社外取締役になられて、 沢井製薬の印象はいかがでしょうか。

..... Question

端的に申しまして、「きちんとしている」です。澤井会長、澤井社長、役員、監査役、もちろん社員全員がしっかりと責務を遂行するという意思を持って、常に職務に臨んでいると思います。ジェネリック医薬品製造という責任の重い事業に携わるにふさわしい、安心して信頼できる会社であると肌で感じています。

また、2千人以上の社員が工場、支店、営業所、研究所、本社とさまざまな異なる部門で仕事をしながらも、常にPatients First、「なによりも患者さんのために」という思いで職務を遂行しているところにも、とても共感を抱いています。

### ジェネリック医薬品の今後の可能性と 沢井製薬の役割に関していかがお考えでしょうか。

..... Question

ご承知のように日本は“超高齢化社会”に突入しており、今後ますます医薬品に対する需要は高まっていくでしょう。しかし、そこには膨張し続ける医療費という大きな問題があり、これに対するジェネリック医薬品の果たす役割の重要度は皆さまが想像されている以上のものがあると思います。8月に国の方針として示された医療用医薬品に対するジェネリック医薬品のシェアを今後80%にまで高めていくという目標を達成するために、当社は、大きな役割を果たさなければなりません。言い換えれば、“国民すべてが平等に医薬品を享受できる体制を維持させること”これこそがジェネリック医薬品のリーディングカンパニーである沢井製薬の使命で

あると考えています。そのために、常に「なによりも患者さんのために」という企業理念のもと、確かな品質のジェネリック医薬品をいち早く上市し、かつ安定供給するという確たる目標を、会社全体で共有することが必要と考えます。この基本姿勢を守っていく限り当社は発展し続けると私は思います。

また、ジェネリック医薬品の価値を、医療従事者および患者さまに伝えることも重要な役割だと思っています。そのためには、日々、社員が一丸となって、患者さまのお役に立つために研究開発や製造、供給に努力を重ね、自信をもって当社の医薬品をお届けしているということ、さらに発信していく必要があると感じています。

## 今後、社外取締役としてコーポレートガバナンスやコンプライアンス、ダイバーシティなどどのように取り組んでいきたいとお考えですか。

..... Question

これらを取り入れた会社運営とは、最大の良心と責任を持ち、製品の品質を担保し、経営において決して不正を行わず、あらゆる偏見と先入観を排除して、人材および発想を取り入れていくことだと思います。そしてその取り組みのなかで、ステークホルダーである株主、消費者、社員、そして社会に対して利益を生み出していくものであり、そこで経営者の手腕が問われるのだと考えています。

例えば、医薬品の有効性と安全性を守るためには、決して原材料の品質を落とすことはできません。いかに生産効率を上げるか、いかに効果的な経費の使い方をするかを考え、コストを下げる努力をすることが大切だと考えます。また、社員に高いポテンシャルを維持しながら

働いていただき生産性を高めることも重要です。経営者は、このような取組みを継続して行き、最大限の利益を追求していかなければなりません。当社は日々の努力により、それを実現させてきました。そして、今後も持続させなければなりません。そのためには、今必要とされている物だけに目を奪われるのではなく、今必要とされていなくても近い将来必ず必要とされるであろう事象を、鋭い嗅覚で察知し、それに取り組んでいくことが大切であると考えています。

社外取締役としては、“社外から冷静な目で会社全体を見る”ということが重要だと考えています。取締役会では、必ず出席者全員が発言をします。私は医療および医薬品に関する情報を日々チェックしておき、さらに医師としての専門知識や経験、日常の診療のなかで気付いたことなども含め、発言するよう心がけています。社外取締役に就任して1年目ですが、社内からは聞こえてこない意見や発想を、しっかり伝えていきたいと考えています。

また、せっかく唯一の女性取締役ですから、女性社員の方々の強い味方になって、当社がますます女性の活躍できる会社になるようお手伝いしていきたいと思っています。もちろん男性社員の方々のお手伝いも喜んでさせていただきます。前を向いて歩き続けようとするすべての方々のお役に立ちたいと考えています。

今後も、「なによりも患者さんのために」という企業理念のもと、超高齢化社会を迎える日本の医療を支えていく誇りと責任を、すべての役員・社員が共有し続ける姿勢を、社外取締役の立場から注視していこうと思えます。そして、その意識と行動こそがステークホルダーの期待に応えることにつながると考えています。

## 研究 開発

### サワイジェネリックの研究開発拠点 「開発センター」が竣工

大阪府吹田市に2014年5月より建設を進めてきた、サワイジェネリックの新しい研究開発拠点「開発センター」が完成し、2015年8月18日(火)に竣工式が行われました。

ジェネリック医薬品は、特許の満了した有効成分を使用して開発される医療用医薬品ですが、同じ効き目でありながら、患者さんが飲みやすいよう小型化や苦味を軽減したり、医療関係者が取り扱いやすいように識別性や保存性を向上させる工夫がなされています。

当社では従来より「ひとつ上の品質を目指す」というテーマを掲げ、工夫を凝らしたサワイジェネリックの開

#### ■ 施設の概要

名称	開発センター
所在地	大阪府吹田市広芝町12-34
着工	2014年5月
竣工	2015年8月
稼動	2015年11月
就業人数	約80名



発に努めてきました。現在の研究所(大阪市淀川区)と今回竣工した開発センターの2つの研究拠点において、今後もその取り組みを一層強化していきます。

## 生産

### 包む力の増強で供給能力を さらに強化。新たな包装工場建設へ

当社は、さらなるジェネリック医薬品の供給体制を強化するために、この度、新包装工場「三田西工場」を兵庫県三田市に建設します。

医薬品は中身をつくるだけでなく、包装して初めて世の中に出て、患者さんの手元に届きます。

当社では、今後も予想されるジェネリックの需要拡大に備え、高品質なジェネリック医薬品を安定的に供給していくための、包装能力を増強していきます。2015年9月に着工し、製品の出荷スタートは2017年1月を予定しております。また、この三田西工場の完成により、従来



(完成予想図)

#### ■ 新工場の概要

名称	三田西工場	竣工予定	2016年8月
所在地	兵庫県三田市テクノパーク18-8	就業人数	約400名
着工	2015年9月		(三田工場とあわせて)

の三田工場内の包装工程スペースが空くため、新たな製造工程機器を導入することができます。これにより三田工場の生産能力は2018年3月期までに30億錠から48億錠へ強化されます。

CSR

## 世界的な心臓血管病予防キャンペーン、 ワールド・ハート・デー2015に特別協賛

当社は、9月27日(日)に大阪市鶴見区の花博記念公園鶴見緑地で開催されたウォーキング・イベント「ワールド・ハート・デー2015『健康ハートウォーク』」に特別協賛いたしました。

ワールド・ハート・デーは、9月29日の「世界ハートの日」に併せて開催される世界的な心臓血管病予防キャンペーンであり、当社は同キャンペーンの「健康的な食生活や運動によって、心臓血管病や生活習慣病の予防啓発を目的とする」という趣旨に賛同し、メインイベントの『健康ハートウォーク』に特別協賛しています。



当日は、多数の方が緑地に咲く色とりどりの季節の花を楽しみながらウォーキングに参加。

また、ウォーキング会場の隣で行われる健康トークショーや、身体の状態を知って健康増進に役立てることができる健康チェックブースにも、多くの方が並ばれていました。

新製品

## 12月に、10成分18品目の新製品を発売予定

12月に発売するラロキシフェン塩酸塩錠は、今まで骨粗鬆症領域のジェネリック医薬品にはなかった作用を有する薬剤です。適応症は「閉経後骨粗鬆症」です。女性の骨粗鬆症患者は閉経後に増えることもあり、ラロキシフェン塩酸塩錠は、骨粗鬆症治療の選択肢を増やすことができる待望のジェネリック医薬品です。

### ▶主要新製品

薬効成分	製品名	製品写真
骨粗鬆症治療剤	ラロキシフェン塩酸塩錠60mg「サワイ」	
うつ病治療剤	セルトラリン錠25mg、50mg「サワイ」	

また、ラロキシフェン塩酸塩錠の承認を取得できたのは当社1社のみであり、当社の知財部門の水準の高さを示す製品でもあります。

このほか、ジェネリック医薬品の置換え率の伸びが予想される「うつ病治療剤」セルトラリン錠、「高血圧治療剤」アムバロ配合錠を、錠剤両面印刷など識別性を高めた製剤として発売する予定です。

薬効成分	製品名	製品写真
高血圧治療剤	アムバロ配合錠「サワイ」	
還元酵素阻害剤	アマルエット配合錠1番、2番、3番、4番「サワイ」	

# 四半期連結財務諸表(要約)

## 四半期連結貸借対照表 (百万円)

	前連結会計年度 2015年3月31日	当第2四半期 連結会計期間 2015年9月30日
<b>【資産の部】</b>		
<b>流動資産</b>	<b>104,274</b>	<b>116,500</b>
現金及び預金	22,603	23,724
受取手形及び売掛金	34,119	37,398
たな卸資産	44,663	51,958
その他の流動資産	2,887	3,419
<b>固定資産</b>	<b>61,905</b>	<b>69,736</b>
有形固定資産	54,700	63,086
無形固定資産	2,116	1,855
投資その他の資産	5,088	4,795
<b>資産合計</b>	<b>166,179</b>	<b>186,237</b>
<b>【負債の部】</b>		
<b>流動負債</b>	<b>42,208</b>	<b>45,237</b>
<b>固定負債</b>	<b>11,571</b>	<b>21,885</b>
<b>負債合計</b>	<b>53,780</b>	<b>67,123</b>
<b>【純資産の部】</b>		
<b>株主資本</b>	<b>111,359</b>	<b>118,305</b>
資本金	27,124	27,167
資本剰余金	27,596	27,799
利益剰余金	62,868	69,344
自己株式	△ 6,229	△ 6,006
その他の包括利益累計額	951	696
新株予約権	87	112
<b>純資産合計</b>	<b>112,398</b>	<b>119,114</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>166,179</b>	<b>186,237</b>

## 四半期連結損益計算書 (百万円)

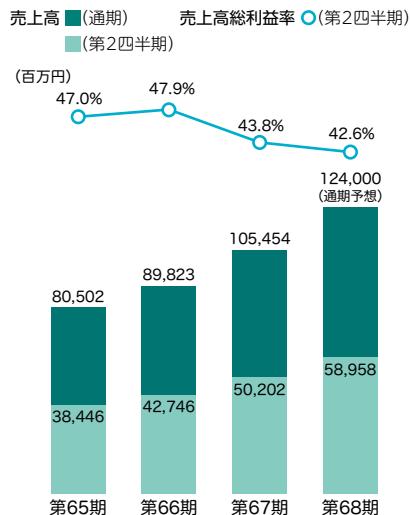
	前第2四半期 連結累計期間 自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日
<b>売上高</b>	<b>50,202</b>	<b>58,958</b>
<b>売上原価</b>	<b>28,190</b>	<b>33,831</b>
<b>売上総利益</b>	<b>22,012</b>	<b>25,127</b>
販売費及び一般管理費	11,786	13,520
<b>営業利益</b>	<b>10,225</b>	<b>11,606</b>
営業外収益	87	89
営業外費用	137	256
<b>経常利益</b>	<b>10,175</b>	<b>11,438</b>
特別利益	0	841
特別損失	35	356
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>10,139</b>	<b>11,923</b>
法人税等	3,142	3,425
<b>少数株主損益調整前四半期純利益</b>	<b>6,997</b>	<b>8,498</b>
少数株主利益	0	0
<b>親会社株式に帰属する四半期純利益</b>	<b>6,997</b>	<b>8,498</b>

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)

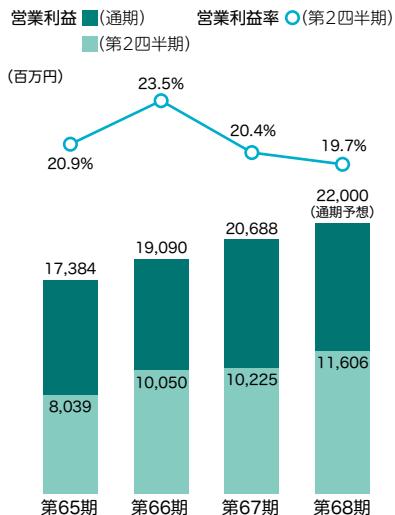
	前第2四半期 連結累計期間 自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,826</b>	<b>6,628</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 5,656</b>	<b>△ 13,963</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 1,391</b>	<b>8,456</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>△ 3,222</b>	<b>1,120</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>25,536</b>	<b>22,603</b>
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>22,314</b>	<b>23,724</b>

# 四半期業績ハイライト

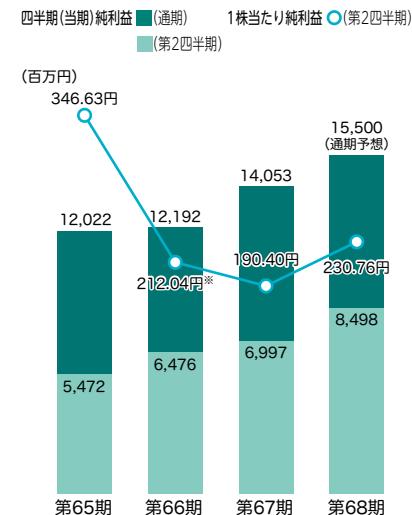
## 売上高／売上高総利益率



## 営業利益／営業利益率

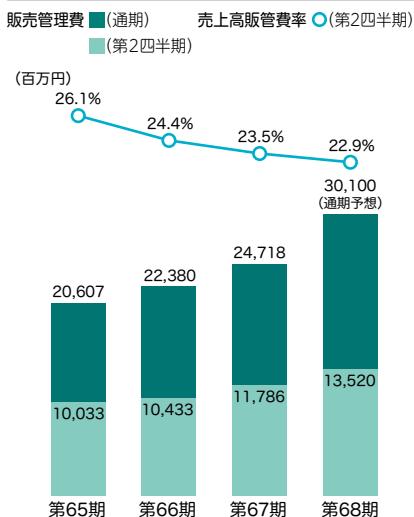


## 四半期(当期)純利益／1株当たり純利益

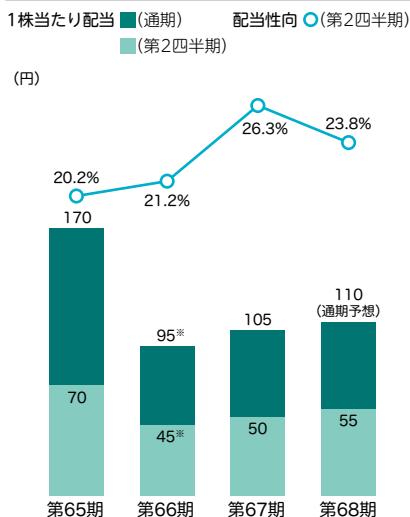


\*一株当たり情報は66期の期首に株式分割が行われたと仮定し算出。

## 販売管理費／売上高販管費率

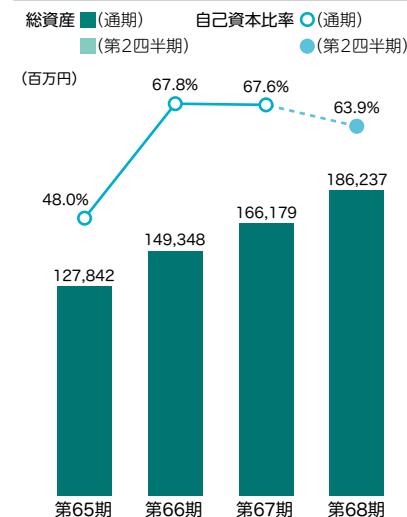


## 1株当たり配当／配当性向



\*一株当たり情報は66期の期首に株式分割が行われたと仮定し算出。

## 総資産／自己資本比率



# 会社概要

## 会社の概要 (2015年9月30日現在)

社名	沢井製薬株式会社	
創業	1929年4月1日	
設立	1948年7月1日	
資本金	271億6,731万円	
従業員数	1,479名(連結)	
事業内容	医薬品の製造販売および輸出入	
販売品目	生活習慣病(高血圧症、脂質異常症、糖尿病等)治療剤、抗がん剤など医療用医薬品約660品目および一般用医薬品	
主要取引銀行	三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行	
ご採用先	国立病院など全国約7,800病院(カバー率約91%)、約34,000医院・診療所(約32%)、および約55,000保険薬局(約93%) 【2015年3月31日現在】	
特約店および販売代理店	特約店	アルフレッサ(株)、(株)スズケン、東邦薬品(株)、(株)メディセオほか広域卸約50社
	販売代理店	西部沢井薬品(株)ほか販売会社約70社、海外1社
提携会社	旭化成ファーマ(株)、積水メディカル(株)、田辺三菱製薬(株)、日本化薬(株)、バイエル薬品(株)、扶桑薬品工業(株)、Meiji Seika ファルマ(株)ほか	

## 役員 (2015年6月25日現在)

代表取締役会長	澤井 弘行	監査役	澤井 武清
代表取締役社長	澤井 光郎	社外監査役	高橋 孝志
取締役常務執行役員	岩佐 孝	社外監査役	小林 俊明
取締役常務執行役員	戸谷 治雅	.....	.....
取締役常務執行役員	木村 圭一	上席執行役員	稲荷 恭三
取締役常務執行役員	小玉 稔	上席執行役員	高橋 嘉輝
取締役常務執行役員	澤井 健造	執行役員	榊 真喜夫
取締役常務執行役員	徳山 慎一	執行役員	徳永 雄二
社外取締役	菅尾 英文	執行役員	末吉 一彦
社外取締役	東堂なをみ	執行役員	佐々木雅啓
常勤監査役	松永 秀嗣	執行役員	濱田 輝

## 本社・事業所・グループ会社 (2015年11月1日現在)

本社・研究所	大阪市淀川区宮原5丁目2-30
支店	札幌、仙台、北関東、東京第一、東京第二、名古屋、大阪、広島、福岡
営業所	長野、東京西、横浜、厚木、千葉、静岡、京都、神戸、北陸、高松、岡山、熊本
工場	鹿島、関東、大阪、三田、九州、第二九州
研究所	本社・研究所、開発センター
子会社	メディサ新薬(株)、化研生薬(株)、化研生薬(株)八郷工場

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
配当金受領株主確定日	毎年3月31日および中間配当を行うときは毎年9月30日
基準日	定時株主総会については3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒540-8639 大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

### 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

郵便物送付先 (電話照会先)  
〒168-0063 東京都杉並区泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-782-031

公告方法  
電子公告としております。ただし、事故やその他止むを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
※ 公告掲載の当社ホームページアドレス  
<http://www.sawai.co.jp/ir/>

### 「配当金計算書」について

配当金支払いの際に送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告をなされる際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。(株式数比例配分方式を選択されている株主様は除きます。)

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

※ 確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

# 株式情報 (2015年9月30日現在)

## 株式状況

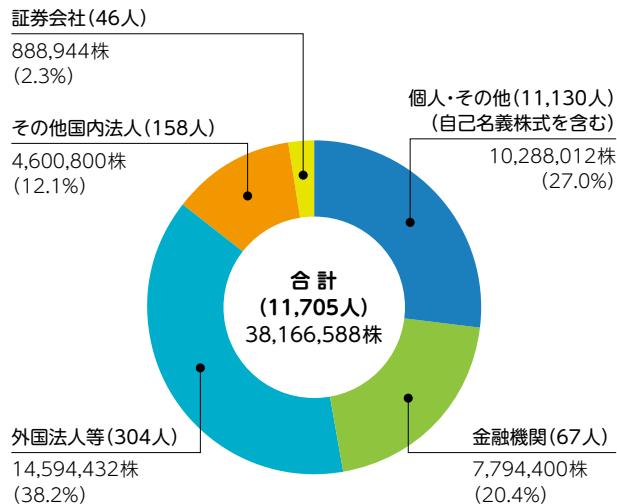
発行可能株式の総数	77,600,000株
発行済株式の総数	38,166,588株
1単元の株式の数	100株
株主数	11,705名

## 大株主

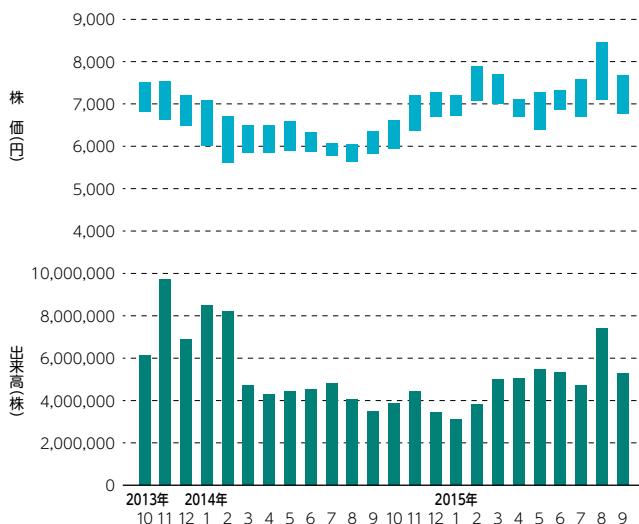
株主名	持株数
ザバンク オブ ニューヨーク 133522	1,468,200株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,433,900株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,203,300株
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	1,155,339株
サワケン株式会社	994,000株
澤井 光郎	948,200株
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	894,635株
澤井 健造	854,000株
ザバンク オブ ニューヨーク ノントリー・ティー ジャスデツク アカウト	850,300株
株式会社三井住友銀行	650,000株

(注)当社は自己株式1,299,539株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。

## 株式分布状況



## 株価(高値・安値)および出来高の推移



# コミュニケーション 広場

## 📖 当社初の「統合報告書」を発行 📖

当社は、このたび「統合報告書2015」（日本語版・英語版）を発行いたしました。今回が沢井製薬グループとして初の統合報告書の発行となります。これまで、当社の経営や企業活動への理解を深めていただくことを目的に、アニュアルレポート（英語版）で報告してきました業績等の財務情報、事業概況に加え、国際統合報告評議会（IIRC）が公表する「国際統合報告フレームワーク」を参考に、環境・社会などの非財務情報を統合的に取り入れた「統合報告書」を作成しました。当社がどのように企業価値を創造し、社会のお役に立っていくかを簡潔に示し、当社への理解をより一層深めていただくことを目指しています。

今後も、医薬品を服用される患者さん、株主や投資家をはじめ、全てのステークホルダーの皆さまとコミュニケーションを深めていくことにより、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。



「統合報告書2015」は  
当社ホームページよりご覧いただけます。

日本語版

[http://www.sawai.co.jp/ir/library/integrated\\_report/](http://www.sawai.co.jp/ir/library/integrated_report/)

英語版

[http://www.sawai.co.jp/en/ir/library/integrated\\_report/](http://www.sawai.co.jp/en/ir/library/integrated_report/)

## 📄 株主さまアンケートから 📄

「第67期株主通信」の株主さまアンケートにご協力いただき、たくさんのご意見を頂戴いたしました。誠にありがとうございました。代表的なご要望を紹介させていただきます。

### ■ ジェネリック業界の中でも特色をもって成長してほしい

ご期待いただき、たいへん光栄です。ジェネリック医薬品の需要拡大に備え、研究開発や設備投資などを積極的に行ってまいります。今後も安全・安心な医薬品の更なる安定供給を目指し精進してまいります。ぜひご期待いただきますようお願い申し上げます。

### ■ 配当金を増やしてほしい、株主優待制度を導入してほしい

今後も新たな成長につながる投資と株主還元のバランスに配慮するとともに、毎期の業績などを総合的に勘案しながら、安定的・継続的な株主さまへの還元に努めてまいります。

株主優待制度につきましては、当社の業態を鑑み、また、お好みの異なる優待品を選定するよりも、株主さまへの還元方法は配当によるものが最も好ましいと考えております。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

## 沢井製薬株式会社

大阪市淀川区宮原5丁目2-30 〒532-0003

TEL: 06-6105-5711 FAX: 06-6394-7311

URL: <http://www.sawai.co.jp>